

数理  
石井

2014年 文系 第1問

1 次の設問の空欄を、あてはまる数値や記号、式などで埋めなさい。

(1) 2次関数  $y = x^2 - 6x + 7$  のグラフは  $y = x^2 + 2x + 2$  のグラフを、 $x$  軸方向に  $\boxed{1}$ 、 $y$  軸方向に  $\boxed{2}$  だけ平行移動したものである。  
 $(1) \quad y = (x-3)^2 - 2 \rightarrow y = (x+1)^2 + 1$

(2) 次の式の分母を有理化せよ。  
 頂点  $(3, -2)$       頂点  $(-1, 1)$   
 (i)  $\frac{\sqrt{3}}{2-\sqrt{3}} = \boxed{3}$       (ii)  $\frac{5\sqrt{6} + \sqrt{2}}{\sqrt{6} + \sqrt{2}} = \boxed{4}$   
 $\frac{\sqrt{3}(2+\sqrt{3})}{(2-\sqrt{3})(2+\sqrt{3})} = 3+2\sqrt{3}$   
 $\frac{(5\sqrt{6}+\sqrt{2})(\sqrt{6}-\sqrt{2})}{(\sqrt{6}+\sqrt{2})(\sqrt{6}-\sqrt{2})} = 7-2\sqrt{3}$

(3) 2点  $A(-1, 2)$ ,  $B(5, 2)$  を結ぶ線分  $AB$  を  $2:1$  に内分する点  $C(\boxed{5}, \boxed{6})$  を通り、線分  $AB$  に垂直な直線の方程式は  $\boxed{7}$  と表される。  
 $x=3$

(4) 数列  $\{a_n\}$  が  $2, 3, 7, 14, 24, \dots$  のように与えられている。その階差数列を  $\{b_n\}$  とする。このとき、 $b_1 = \boxed{8}$ ,  $b_2 = \boxed{9}$  であり、数列  $\{b_n\}$  の一般項は  $b_n = \boxed{10}$  と表される。よって、数列  $\{a_n\}$  の一般項は  $a_n = \boxed{11}$  となる。  
 $\frac{3}{2}n^2 - \frac{7}{2}n + 4$        $3n-2$

(5)  $x + y = 20$ ,  $x > 0$ ,  $y > 0$  であるとき、 $\log_{\perp} x + \log_{\perp} y$  の最小値は  $\boxed{12}$  である。

(6) 各辺の長さが  $AB = 1$ ,  $BC = 2$ ,  $CA = k$  である  $\triangle ABC$  の面積は、 $k = \boxed{13}$  のとき最大値  $\boxed{14}$  をとる。  
 $\sqrt{5}$

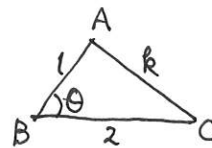
(7) 2つのベクトル  $\vec{x} = (a, b)$ ,  $\vec{y} = (1, c)$  について、 $\vec{x} \perp \vec{y}$ ,  $|\vec{x} - \vec{y}| = 2$ ,  $abc = -1$  を満たす実数  $a, b, c$  の組合せは  $\boxed{15}$  通り存在する。また、このうち  $a + b + c$  の最小値は  $\boxed{16}$  となる。

(8) 2人の男性  $A, B$  と 2人の女性  $a, b$  がいる。この4人は無作為に異性を1人ずつ選ぶ。このとき、男性が選んだ女性はその男性を選ばば、その男女をペアとする。たとえば、男性  $A$  が女性  $a$  を選び、女性  $a$  も男性  $A$  を選ばば、その男女はペアとなる。このとき、ペアが全くできない確率は  $\boxed{17}$ , ペアがちょうど1組だけできる確率は  $\boxed{18}$ , ペアが2組できる確率は  $\boxed{19}$  である。  
 $\frac{3}{8}$        $\frac{1}{8}$

(5) 相対・相乗平均の関係より  $x + y \geq 2\sqrt{xy} \therefore xy \leq 100$   
 $\therefore \log_{10} x + \log_{10} y = \log_{10} xy \leq \log_{10} 100 = -2$

(6) 三角形の成立条件より  $1 < k < 3$ , 余弦定理より  $\cos \theta = \frac{5-k^2}{4}$

$$\therefore \sin \theta = \frac{\sqrt{-k^4 + 10k^2 - 9}}{4} \quad \therefore S = \frac{1}{2} \cdot 1 \cdot 2 \cdot \frac{\sqrt{-(k^2-5)^2 + 16}}{4}$$



$\therefore k = \sqrt{5}$  のとき、最大値  $1$

(7)  $\vec{x} \cdot \vec{y} = 0$  より  $a + bc = 0 \dots \textcircled{1}$        $|\vec{x}|^2 - 2\vec{x} \cdot \vec{y} + |\vec{y}|^2 = 4$  より  $a^2 + b^2 + c^2 = 3 \dots \textcircled{2}$

$abc = -1 \dots \textcircled{3}$        $\textcircled{1}, \textcircled{3}$  より  $a = \pm 1, bc = \mp 1$        $\textcircled{2}$  に代入して

$(a, b, c) = (1, \pm 1, \mp 1), (-1, \pm 1, \pm 1)$       4通り、 $a + b + c$  の最小値は  $-3$

(8)  $\frac{2}{24} = \frac{1}{12}$        $\frac{4 \times 3}{24} = \frac{1}{2}$        $1 - \frac{1}{8} - \frac{3}{4} = \frac{1}{8}$